

ALLニセコ 多様なデータ集約による消費行動促進事業 (ニセコエリアスマートリゾート推進コンソーシアム)

実施地域
北海道ニセコエリア（ニセコ町・倶知安町・蘭越町）

事業概要
ニセコエリアでは、グリーンシーズンとスノーシーズンの繁閑差が大きいこと、人気の高い地域ではあるが来訪者の満足度が低いこと、地域内のデジタル化・DXの導入率や必要性の認識率に差異があるという課題があった。
本事業では、街中の観光・店舗等の情報やゲレンデ内のリフト・シャトルバス等の稼働状況をオンライン上で可視化した「ニセコデジタルマップ」「トレイルマップ」を提供することで、観光客の利便性向上に伴う満足度の向上及び地域内消費の拡大を図る取組を行っている。また、特にニセコデジタルマップでは、グリーン・スノー両シーズンの情報を掲載することで、シーズン毎の認知度を向上し、繁閑差の縮小を目指す。さらに、行政・観光DMO、宿泊事業者・観光関連施設経営者等が利用可能なデータ収集分析プラットフォームを構築し、予約状況等のデータ可視化や需要予測を行うことで、デジタル化・DXの必要性を実感していただくとともに、戦略的な取組の創出を図り、効率的な経営の実現を目指す。

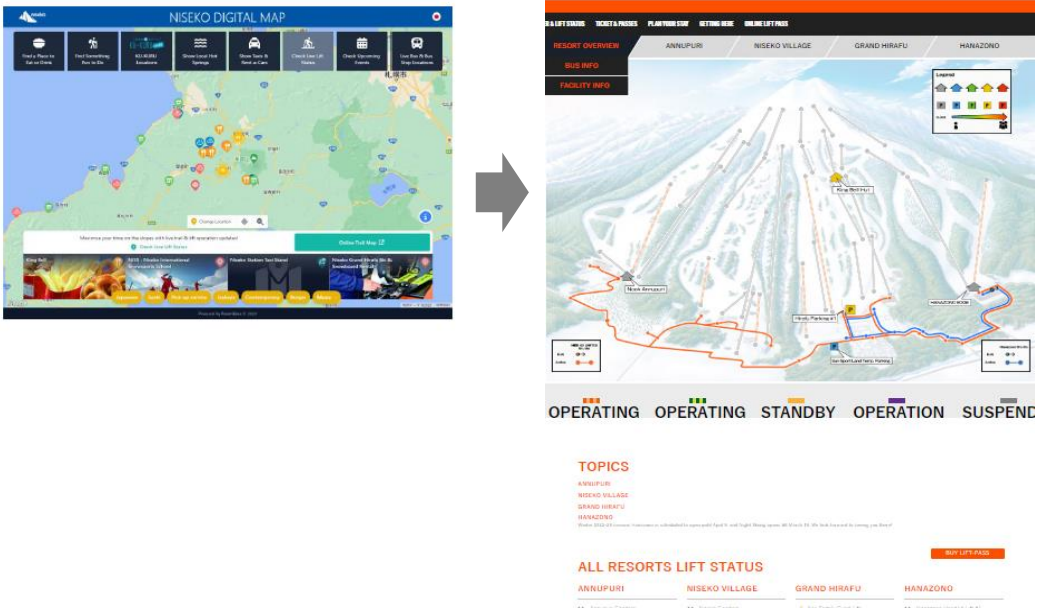
事業目標と成果

KPI	目標	実績
事業期間内の繁閑の平準化	20%→40%	43%
冬季におけるリゾート満足度の向上	60%	※実証期間が十分ではなく、取組の普及には至っておらず、現時点での計測は実施しない。
KU - KURU公式ウェブサイトへのアクセス数	対前年比同期間比10%増	11%増

事業の成果
➤ 観光客へのリアルタイムな情報提供による利便性向上とそれに伴う満足度向上及び地域内消費額の拡大
地域内の観光情報等を集約し、オンライン上で一元的に表示したことで、観光客は、旅ナカにおける様々なシーンで必要な観光情報や交通関連情報等を効率的に収集することが可能になり、利便性向上に伴う満足度向上に繋がった。また、アンケートの結果、レストラン・駐車場の混雑情報やリフト・バスの運行情報等のリアルタイム情報を基に行動・計画を変えていることがわかった。的確なタイミングにおける適切な情報発信が、地域内消費額の拡大に繋がるという示唆を得られた。
➤ データ収集プラットフォームの構築による生産性向上の足掛かり
宿泊データや予約データ、観光客の興味関心データ等をプラットフォーム上で一元管理することで、先予約状況の把握や顧客ニーズを確認することができ、繁閑差を平準化するための販促施策や仕入れ量の適正化、ニーズに適したプロモーションによる費用対効果の改善等の生産性向上につながるプラットフォームを構築した。

実施体制
地方公共団体等：倶知安町
観光等事業者：(株)JT北海道事業部、(一社)倶知安町観光協会、(株)ニセコリゾート観光協会、(一社)ニセコプロモーションボード、(株)RoomBoss、(株)オープントーン

実証内容(概要図)



今後目指す姿
観光客の旅行消費単価の拡大、来訪者満足度の向上、グリーン・スノーシーズンの繁閑差の解消を実現し、持続可能な観光リゾートの実現を図る
➤ 観光集約マップ・トレイルマップの掲載情報の拡充と分析データの量と種類の拡充により観光行動を最適化させ更なる満足度の向上
本事業で開発した観光集約マップとトレイルマップにおける掲載情報の拡充を進めるとともに、データ収集分析プラットフォームで分析可能なデータの量と種類の増加に伴うさらなる業務効率化及び高付加価値なサービス提供を図ることで、観光客の観光行動を最適化し更なる満足度の向上を目指す。
➤ 繁閑差を解消するための観光戦略の策定
観光集約マップとトレイルマップ、データ収集プラットフォームの登録データを拡充し、行政やDMO・地域内事業者等がデータに基づいた年間戦略を構築することにより、スノーシーズンだけでなく、グリーンシーズンの誘客促進を目指す。